

# 2019年8月5日掲載 物流ウィークリー

## 新卒採用で若返り図る

運送事業の要として活躍するトラックドライバーだが、高齢化が進み、多くの中高年に依存している状況にある。将来のことを考え、若年層を積極的に取り込んでいかなければ、間違いなくドライバー不足に陥ることになる。実際に、全業種と比較して低賃金・長時間労働（専ら省「国金構造基本統計調査」より）である運送業のトラックドライバーになるという人は少なく、特に若手層や女性の割合は全業種と比べて極めて低い状況となっている。当然のことながら、新卒採用に取組

### 高齢化進むドライバー

んでいる事業者は少なくないが、運送事業一本でやっている事業者では、運転免許の問題で積極的に新卒採用を行うのは難しい。育てる期間を設けるだけの余力がないというのが現状だ。ただ、中小運送事業者の中には「若い人に投資しなければ先がない」と考えている経営者も増えている。一方、10代ドライバーになりにくいと考えている人もいないわけではないが、免許取得支援があっても、働きたいと思える会社を探さずともして情報が少ないことから、という声もある。

#### 第一貨物

### SNSや職場見学

「トータル・ロジ」材の定期的な確保は、ステークス・サービス業だと考え、企業（ドライバー）業の活性化などの観点から定期的な（毎月）新卒採用は必要不可欠な（こと）と（山形県山形市）ではしている。

以前から、大卒・高卒などの新卒採用をの応募数は毎年、大規模的に行ってきた。学生が50人から70人、同社では「長期生が50人、短期的な企業経営を考え、60人となっている。一方で、将来の幹部これらの応募者を確保の確保、若い人得するために、大学

## 「若い人に投資しなければ先がない」



第一貨物の2019年の入社式

生（各大学各合同会社）各専門学校）をどの教育力を入れ、業協会に出席して併設し、新入社員なっている。併設し、新入社員なっている。

また、新卒を採用するために、職場環境や給与、社内でのステップアップなどの制度や仕組みを整備しているほか、新入社員研修制度（2ヶ月間）期間中は職種により変更やメンター制度、各種資格取得の支援制度なども整備している。さらに、同社では社内設立から10年を超える「第一貨物物流技能専門